

# 平成31(令和元)年度 学校自己評価表

( 計画段階 ・ 実施段階 )

福岡県立小倉高等学校長



学校運営計画				評価(3月)		
学校運営方針		本校は、将来各方面でリーダーとしての役割を果たし、社会に貢献する有為な人材の育成を使命としている。「文武両道」「質実剛健」の校是のもと、高い志を掲げ、勉学に励み、社会や人のために尽くすたくましい生徒を育てる教育活動を展開する。			A	
昨年度の成果と課題		31年度重点目標		具体的目標		
昨年度は、学校創立110周年の年で、学校の充実、特色化に取り組み、十分な成果が得られた。 本年は、SSHの3期目の最終年度に当たり、進路学習はもとより、教職員の意識改革を進めて、授業改善を進める。併せて、新しい教育課程を見据え、生徒の実態に応じた指導の工夫・改善を図り、より実効性のある教育活動を展開することで、生徒・保護者及び地域等から信頼される学校づくりを推進する必要がある。	勉学：勉学に励み、自主自律の精神と適正な判断力を備えた生徒を育成する。		全教科においてアクティブ・ラーナーの育成を目指した授業改善に取り組み、コミュニケーション能力や課題解決能力に卓越した力を有する倉高生をめざす。			
	創造：創造力豊かで、柔軟な思考力と実践力を備えた生徒を育成する。		学校設定科目「課題研究Ⅰ」「課題研究Ⅱ」の学習を通して、主体的・協働的な探究活動を行い、思考力・判断力・表現力を身につけた創造力豊かな倉高生をめざす。			
	規律：規律・秩序・礼儀を重んじ、よりよい社会の形成者となる生徒を育成する。		授業規律や教室の環境整備に常に努めるとともに、積極的に地域の活動に参加し、挨拶・礼儀など品格のある行動に努め、地域に信頼される倉高生をめざす。			
	勤労：勤労を尊び、豊かな情操と奉仕的精神を備えた、心身ともに健康な生徒を育成する。		地域のボランティア活動に積極的に参加し、その役割を果たすことで、社会に貢献できる自己を認識し、自尊感情を高くもつ生きる力を身につけた倉高生をめざす。			
敬愛：他者への敬愛の念を抱き、国際社会に生きる日本人としての自覚を持つ生徒を育成する。		文武両道・質実剛健の校是を实践するために、広い視野に立ち、郷土に誇りと愛着をもち、夢に向かって自信をもって、世界に打って出る倉高生をめざす。				
評価項目	具体的目標	具体的方策	評価(3月)		次年度の主な課題	
学習指導(勉学)	教科指導力の向上	・教員相互の授業参観や研究授業、生徒からの授業アンケートを通して自らの授業を振り返り、教科指導力を向上させる。	A	A	新しい大学入試に柔軟に対応するための効果的な教育課程の検討を進め、「主体的・対話的で深い学び」につながる授業を实践する。	
		・学年にかかわらず各教科内で連携を深め、新課程に即した小倉高校独自の教科指導方法を確立する。	B			
		・大学の入試問題分析及び進学テストの問題検討会を通して、作問力の向上を図る。	B			
		・ICTの活用や、アクティブ・ラーニング型授業を取り入れ、主体的・対話的で深い学びの実現を図る。	A			
学習意欲の向上	学習意欲の向上	・Pass(Put Away Smartphones and Study)運動など主体的で自立した学習者を育てる。	A	A		
		・高校での初期指導の重要性を十分に認識し、1年次1学期の授業や課題等に配慮し、中学からの移行を円滑に行う。	A			
		・習熟度別課題や希望者添削課題などを通して、基礎学力や応用力を定着させ、自主的・主体的な学習態度の育成を図る。	B			
		・課題研究、スタディツアーなどにより、各自の進路に関する知識と意欲を深めさせ、キャリア教育の充実を図る。	A			
進路指導(創造)	進路希望の実現	・SSH講演会などによって生徒に良い刺激を与え、高い志を抱かせる。	A	A	キャリア教育とSSHの成果を活かした探究活動を一層充実させ、進路意欲および学力の向上につながる支援を強化する。	
		・大学や地域、他校と連携した取組をさらに推進し、指導方法や評価方法についての研究を進める。	A			
		・適切な進路情報を提供し、個人面談や個別指導を充実させることで、生徒一人ひとりの自主的な学習活動を促す。	A			
		・新大学入試制度に関する情報を常に把握しながら、将来の進路指導に向けた具体的方策を協議する。	B			
生徒指導(規律)	規範意識の向上	・各期の東大10名、京大10名、九大80名、医学部医学科20名合格という目標の達成に向けて支援する。	B	A		
		・進学テストの作問を通して、教科内で難関大学・学部の入試問題研究を行うとともに教科指導力の向上を図る。	A			
		・基本的な生活習慣を確立し、出席率99%、出席皆勤者50%以上を目指す。	B			校外におけるマナー指導を徹底し、地域から信頼される倉高生を育成する。「文武両道」を継続するための環境整備を図る。
		・本校の校訓に基づき、真のリーダーとして、あらゆる場面において最大の努力ができる精神力を身につけさせる。	A			
・全職員が全教育活動を通して生徒の道徳心の高揚に努めることで、人を思いやる心豊かな生徒を育成する。	B					
・勉学と部活動、生徒会活動との両立を目指し、家庭学習時間を確保するために19時30分完全下校を堅持する。	A					
道徳教育(勤労・敬愛)	生徒の状況に即した指導の充実	・部活動の一層の活性化に努め、文化部・体育部併せて九州大会10部、全国大会5部の出場を目標とする。	B	A		
		・文化祭・体育大会・学校開放説明会の三大行事等の学校行事を通して、倉高生としての帰属意識と達成感を持たせる。	A			
		・生徒会活動を通して、主体的に考え、組織的に取り組む態度を養い、リーダーシップを育成する。	A			
		・配慮を要する生徒に対して、家庭や関係機関と連携して支援や指導をする。	A		すべての教育活動においていじめやSNSの問題に組織的に対応する。清掃活動を通して徳育の醸成を図る。	
モラルの向上 勤労・奉仕精神の育成	モラルの向上 勤労・奉仕精神の育成	・学校いじめ防止基本方針に基づき5項目の取組を実施し、いじめ防止対策委員会で評価し、今後の課題を検討する。	A	B		
		・不登校傾向にある生徒や課題を抱える生徒の情報を全職員で共有し、家庭と連携した教育的支援を实践する。	B			
		・校外におけるマナーの向上を指導し、社会生活における規範意識向上の重要性を理解させる。	B			
		・日常の清掃や地域での清掃ボランティア、除草作業を通じ、学校、地域、社会の一員としての奉仕精神を涵養する。	B			
		・全教育活動を通して、人権教育と道徳教育の一層の充実を図り、人間力の向上を目指す。	A			

